

市民の投稿



地域で運営する「鴨庄ふれあいバス」

NPO法人鴨庄 副理事長 荻野忠志

「鴨庄ふれあいバス」は、地域住民の声が発端となり、公共交通もなく交通手段を持たない住民の不便を解消するために、住民でバスを走らせようとの発案で全戸住民アンケートの結果、60%強の利用を望む声を受け、実施案の説明、自治会の要望や意見集約を経て、10年前に運行を始めました。

地域内の篤志家の寄付や県補助金を資金として、8人乗り中古車両を購入し、運賃無料で役員など12名が運行ボランティアとなり、土・日・祝日運休、30カ所ほどの停留所を設け、定時運行としたものでした。

時勢の変化に伴い、平成17年2月にJR市島駅、市役所市島支所、スーパーにまで運行エリアを拡大し利便性を図る一方、利用状況や運転者の負担軽減などで、週3日の運行にするなどの変更もありましたが、地域になくてはならないこの事業を持続させるため、平成21年にNPO法人認可を受け、過疎地有償運行事業を開始するに至っています。

後になりましたが、法人立ち上げにご尽力いただいた行政担当者、バス運営にご理解いただいております事業者様、関係各位に改めて感謝申し上げます。



子ども見守りパトロール



ふれあいバスの運営

▲ふれあいバスの活用

「チョット好き国領ガイドマップ」発刊！！

国領地区元気な地域づくり委員会

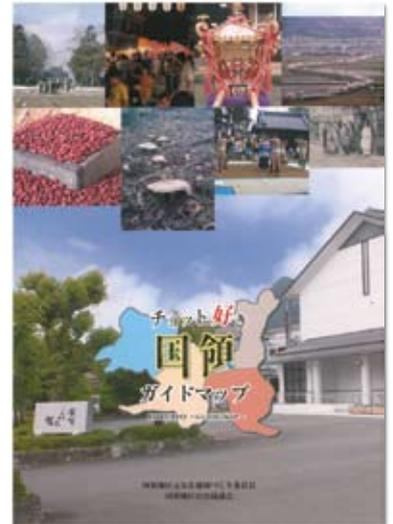
委員長 上田 脩

委員会では、「丹波市元気な地域づくり特別事業」を実施するにあたり、地域の皆さんにアンケートを行いました。その回答に、「国領地区には数多くの歴史、文化遺産があります。しかし、それらを分かりやすくまとめたものがない」とありました。この課題解決のために、「チョット好き国領ガイドマップ」を作成しました。

第一部は『名所・旧跡編』です。ここでは神社、仏閣以外に、人々に忘れ去られようとしている史跡にもスポットを当てました。紹介した名所・旧跡は56カ所です。また、各地の鎮守社（ちんじゅしゃ）に合祀（ごうし）されている神社など39点も紹介しています。

第二部は『資料編』です。明治43年に、当時の村長が編纂された約千頁に及ぶ「国領史」を参考に、明治41年当時の地図、現在との人口・世帯数比較、明治維新からの行政や教育の実態などをまとめました。また、明治元年から平成25年まで、145年間の出来事を年表として記載しました。

このガイドマップが、故郷の歴史文化を次の時代につないでいくための資料、また、国領地区を訪れる人々の案内書としてお役に立つことを期待しています。



▲国領ガイドマップ

※前号で「神楽資料館」として掲載した写真は、「かじかの郷」の写真でした。訂正してお詫申し上げます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は議会だよりをご愛読賜り、ありがとうございました。

本年は午年で、さっそうと駆け抜ける馬の姿は勇ましく大きな飛躍を期待させます。新年を迎え、議会報編集委員一同、心を新たに、市民の皆さまに分かりやすい編集に取り組んでいきます。

市内では、道路の各所に凍結防止の袋が置かれている風景が見られる季節となりました。今後寒さが厳しくなり、早朝深夜には凍結が予想されます。交通安全には十分気をつけていただき、元気で幸せな毎日をお過ごしになりますよう皆様のご健勝とご多幸をお祈りします。

3月定例会の予定

2月	25	火	本会議（議案提案）	9：30
	28	金	本会議（議案質疑）	9：30
3月	10	月	本会議（議案の採決）	9：30
	12	水	本会議（一般質問）	9：00
	13	木	本会議（一般質問）	9：00
	14	金	本会議（一般質問）	9：00
	28	金	本会議（予算案の採決）	9：30

*上記の日程につきましては、変更となる場合もありますので、最新の情報は市議会のホームページや議会公式フェイスブックなどでご確認ください。